

鹿島 清原太兵衛の功績たたえる公募小説



大賞を受賞し、山本鹿島町長から表彰される寺井敏夫さん

大賞に寺井さん(松江)

原稿用紙「人柄に魅せられた」 290枚の大作

佐陀川開削に身をさ
さげた郷土の偉人「清
原太兵衛」(一七二二
—一七八七)の功績を
たたえようと、鹿島町
が全国から公募した懸
賞小説の入選発表、表
彰式が二十七日、鹿島
町役場で開かれ、大賞
には寺井敏夫さん(三
三)松江市東本町、団体
役員)が選ばれた。

懸賞小説は、同町が合併
四十周年記念事業の一環と
して昨年七月から募集し、
十二月の締め切りまでに關
東、四国など県外から四人
県内から五人の計九人が応
募した。

入選発表、表彰式で山本
清澄町長が「清原太兵衛の
佐陀川開削により松江城下
は水害から救われ、航路や
新田開発で鹿島町発展の基
礎が築かれた。これからも
功績を語り継いでいきな
い」とあいさつ。審査委員

長の藤岡大拙・八雲立つ風
土記の丘所長が最終選考に
残った四点の審査結果を発
表し、大賞に寺井さん、佳
作に安達光雄さん(鹿島町
手結)、岩田昭三さん(神
奈川県川崎市)、柴田宗徳
さん(愛媛県保内町)の三
人が選ばれた。

寺井さんの作品は四百字
詰め原稿用紙二百九十枚の
大作。九月上旬から三カ月
かけて書き上げた。寺井さ
んは「七十歳をすぎてから
工事の指揮をとった清原太
兵衛の人柄や執念に魅せら
れました。機会を与えてい
たことに感謝してい
ます」と受賞の喜びを語っ
ていた。寺井さんの作品は
近く、小説として出版され
る。

表彰式では、寺井さんに
山本町長から賞状と賞金百
万円、佳作の三人には賞状
と記念品の八雲塗の額が贈
られた。

清原太兵衛は松江藩に仕
え、宍道湖北岸と日本海を
結ぶ水路の必要性を訴え、
天明五(一七八五)年、工
事に着手。全長十二キロの佐
陀川開削難工事を自ら設
計、指揮し、完成を目前に
して死去した。